

見を聞き、改修も含めた再整備となれば、建築確認を必要とする大規模な改修が行えないことを念頭に置いて、長寿命化の検討を行う必要がある。

**問** 平成27年9月議会の一般質問で、駅北立駐の再整備額30億円との答弁だったが、八木駅北側の再整備全体の予算として30億円、35億円と答弁した。立体駐車場に関しては、取り壊しを含めた立体駐車場の再整備は21億円から22億円と八木駅北側再整備に関する事業モデルの参考例として挙げた。

**問** 駐車場以外の再開発で市の持ち出しがあるとするれば、どのようなものか。

**答** 道路などの公共施設再整備のために市の持ち出しは発生すると考えている。登記関係や、詳細な調査等の経費も必要になる。整備手法等が決まっていない現時点では、全事業費や市の持ち出しと予算などはわからない。

**問** 平成27年7月作成の報告書には、八木駅北側の開発に關して事業モデルを2つ設定している。事業モデル1は、現在の市有地以外の土地の取

得が必要になるのか。駐車場整備に32億円と出ているが、駅北側施設の移転補償費や仮設営業費はどうなるのか。開発費用に含まれなくても市の持ち出しの可能性はあるのか。

**答** 事業モデル1は、全体的に32億円程度である。そのうち、駅北立駐の解体や、再開発ビルの駐車場・駐輪場の再整備で21億円算定している。事業モデル2は、立体駐車場の再整備を考えた。官民一体的な整備ではなく、民間敷地での部分的な再開発を想定しており、基本的には公共施設の整備をメインとして設定している。高額の事業予算を示しているが、当時の想定可能な事業モデルを例として、概算算定をした参考値である。今後の整備計画などの精度の向上にあわせて、再検討の必要がある。

**問** 事業モデル1は、駅北側ビルを更地にして、駐車場を建設し、現在の駅前広場にも駐車場を建設する計画であり、事業モデル2は、八木駅北側の広場と現在の商業ビルの土地だけでなく、文化会館前の土地も含んだ計画なのか。

**答** おおむねそのとおり。

**問** 市庁舎の建設で起債が9割可能とのことだが、お金を先に投入して、借金の割合をもう少し低くしないのか。公共施設整備基金（基金）の使い道は、本庁舎の建設、駅北立駐の改修も含めて再整備となった場合に限るべきでは。

**答** 世代間の公平性の健全化、財政負担の平準化という意味では、一概に起債が悪いと言えない。当初の計画では、耐震性能に乏しい本庁舎の整備に必要な一般財源16.25億円を目標に積み立てを進めた。市町村役場機能緊急保全事業の創設で、6.5億円程度に圧縮されたが、公共施設等総合管理計画の方針に従い、基金を用いて、公共施設の更新・整備に努める。計画は長期にわたるので、市有施設の健全化に基金を使いたい。

**問** 検討委員会は、非公開であるが、一般質問での答弁で公開を検討することであったが検討したのか。

**答** 2月開催の検討委員会で各委員に伝えた。意思形成過程では公開しないが、最終決定の際は、検討の余地があるとの答えであった。

**問** 「今までどおりの収集方法でいい」という自治会に対する今後の説明は。

**答** 平成28年12月の審議会の最終答申を尊重し、実現可能な収集体制を検討し、準備したい。粗大ごみと不燃物を分別収集するため、分別ガイドブックを作成して、自治会、マンション管理組合などの単位で、きめ細かに市民説明会を開催したい。広報等で、制度導入の背景や目的を説明し、市民へ周知徹底したい。

**問** 分別ガイドブック作成時、自治会からの要請があれば説明会を開催するの。



近鉄大和八木駅北側

## 粗大ゴミ問題

**答** 前回と同様に11地区の代表に説明してから細かく回りたい。防災上の避難通路確保等も考慮しつつ、各自治会、各集合住宅等の住民と十分に協議し、地域特性に合った収集をした。

**問** 都市部や旧村部など場所により排出場所が違うが、リクエスト収集、戸別収集に切りかえるうえでの努力は。

**答** 集合住宅や狭隘な地区等は、できるだけ近くに収集に行くことを前提で考えているが、地域特性に合った収集を考えた。

**問** 戸別収集に係る経費は。

**答** さまざまなシミュレーションを行いながら、経費の算出をする必要があると考えている。試算した後に制度導入による予算を示せると考えているが、現時点では示せない。

**問** 前回、粗大ごみの有料化の時期も答弁がなかった。平成28年9月の決算特別委員会では、「年度の始まる時期に実施となれば、前年度の9月か12月の議会に条例案を出す」との答弁だったが。

**答** そうなるようにしたい。